2 期連続で悪化した神奈川県内中堅・中小企業の業況判断 企業経営予測調査 2001年6月調査結果より

(株)浜銀総合研究所(社長 遠山悌二郎)では、神奈川県内の中堅・中小企業を中心としたアンケート「企業経営予測調査」の2001年6月調査を実施いたしました。今般、同調査のなかで最も注目度が高いと思われます業況判断D.I.の集計結果がまとまりましたのでご案内いたします。

_____要 旨______

神奈川県内中堅・中小企業の2001年6月末時点における業況判断D.I.(全産業ベース)は43となった。前回の3月調査(33)に比べて10ポイント悪化した。「悪い」超幅の拡大は前回調査に続いて2期連続である。さらに3か月先の2001年9月時点のD.I.値についても46と悪化が見込まれている。

今回の業況判断D.I.値を製造業、非製造業の別に分けてみると、製造業は前回3月調査の25から今回43へと18ポイントの大幅低下となった。また、すでにマイナス幅の大きかった非製造業も同40から同42とさらに悪化した。

最近の県内景気は、乗用車販売や大型小売店販売額などの個人消費は底堅く推移しているものの、米国を中心とした海外景気の減速から輸出の大幅な減少が続いていることなどから、最終需要は総じて弱含みに転じている。これらを背景に年明け以降の製造企業の在庫は急速に積み上がっており、生産活動は調整局面入りとなるなど停滞色が強まっている。今回の県内中堅・中小企業の業況判断は、そうした景気後退局面入りをうかがわせる結果といえる。

【本件についてのお問い合わせ先は、下記の担当までお願いいたします】 (株)浜銀総合研究所 調査部 (担当 八 木、守 谷) 電話 045-225-2375(ダイヤルイン)

2001年6月実施

四半期別(第120回)結果

対象企業 神奈川県内の中堅・中小企業を中心とした884社 (うち製造業349社、非製造業535社)

回収率40.0%(回答企業354社 うち製造業170社、非製造業184社)

業況判断 D.I.

(2001年6月末)

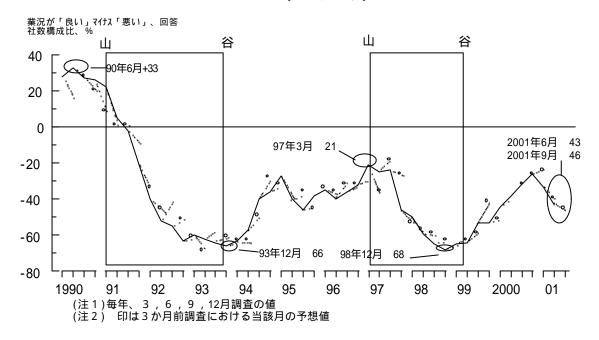
2001年6月末における神奈川県内中堅・中小企業(全産業)の業況判断D.I.(注)は43となった。これは前回3月末調査(33)に比べて10ポイントの悪化であり、3月時点での見込み値(40)を3ポイント下回った。

製造・非製造の別にみると、製造業の業況判断D.I.は、前回調査の 25から今回 43と18ポイントの大幅な悪化となり、製造業での落ち込みの大きさが目立つ。輸送機械は乗用車のモデルチェンジ効果などで国内需要が底堅く推移したことなどから「悪い」超幅が縮小したものの、電気機械や一般機械では、情報通信関連機器の需要鈍化や米国向けを中心に輸出の落ち込みが続いていることで「悪い」超幅が一段と拡大したためである。

一方、非製造業についてみると、建設は「悪い」超幅が縮小したものの、電子部品・コンピュータ関連機器販売を中心とした卸・小売やサービスでマイナス幅が拡大した結果、前回調査の 40から今回 42と2ポイントの悪化となった。

(注)業況判断D.I.:業況が「良い」マイナス「悪い」の回答社数構成比、%。

業況判断D.I.の推移 (全産業)



(3か月先の見通し)

2001年9月末時点の業況判断D.I.は、全産業で46と6月末実績(43)に比べさらに悪化する見通しである。製造業では、電気機械は若干の改善を見込んでいるものの、輸送機械が大幅な悪化を予想しているほか、一般機械も悪化を見込んでいるため、「悪い」超幅は48と6月末比5ポイント悪化する。

非製造業では、建設は「悪い」超幅がやや縮小するが、サービスが大幅な悪化を予想しているほか、卸・小売も悪化予想となっていることから、D.I.値は 45と6月末に比べて3ポイントマイナス幅が拡大する見通しである。

足下の業況判断と3か月先の見通し (業況判断D.I.:業況が「良い」マイナス「悪い」の回答社数構成比、%)

区分		2000年	2001年	2001年	2001年 9月末
		12月末	3月末	6月末	(予想)
全	産 業	26	33	43 (40)	46
	製 造 業	14	25	43 (30)	48
	電気機械	2	18	51 (27)	47
	輸送機械	32	26	22 (26)	43
	一般機械	0	11	30 (26)	43
	非製造業	38	40	42 (49)	45
	建設	53	63	52 (59)	50
	卸・小売	43	40	51 (55)	52
	サービス	15	24	29 (41)	37

(注)カッコ内は2001年3月末調査時点における6月末予想である。

以上